

利用者の状態確認表の書き方

【認知症高齢者日常生活自立度・寝たきり度について】

★ 現在の状況で○をつけて下さい。

【移動状況について】

①歩行が困難な原因（疾患・機能障害）

疾患・機能障害等で歩行が困難な状況を医師とも相談しケアマネジャーが記載して下さい。

例）両膝関節症により屋外で長距離歩行が困難である。

例）腰椎椎間狭窄症により下肢がしびれており長距離歩行が困難であり転倒の危険性がある。

②屋内・外での歩行困難な状況及び歩行器や歩行補助杖等を利用した場合での移動状況

例）パーキンソン病等で行動に日内変動があり歩行が不安定で危険性が大きい。

③移動先までの立地状況

例）公共交通機関の乗り場が不便で、日常生活に必要な場所まで遠く歩行できない。
車いすの必要性から見た環境条件を記載する。

【具体的目標について】

車いすを利用して移動することによって買い物等日常生活上できること

例）自宅から2回/週は車いす等を利用して買い物に行く。

【有効性について】

車いす利用の有効性

本人の自立意欲が向上し生活全般に渡り生活行為の幅が広がる等の内容を記載する。

【安全性について】

①車いすの種類に応じて安全性が確認されていますか
高齢者の車いす事故等の検討から確認をしているか？